



2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社 HANATOUR JAPAN 上場取引所 東
 コード番号 6561 URL <http://www.hanatourjapan.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 炳燦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 田中 一彰 (TEL) 03(6629)4755
 定時株主総会開催予定日 2023年3月30日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年3月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期の連結業績(2022年1月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	2,012	132.8	△1,393	—	△1,402	—	△657	—
2021年12月期	864	△8.8	△2,023	—	△1,959	—	△1,968	—

(注) 包括利益 2022年12月期 △655百万円(—%) 2021年12月期 △1,965百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年12月期	△52.36	—	△69.1	△14.8	△69.2
2021年12月期	△178.33	—	△130.1	△19.0	△234.1

(参考) 持分法投資損益 2022年12月期 一百万円 2021年12月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期	8,919	647	7.0	49.70
2021年12月期	9,993	1,307	12.8	101.91

(参考) 自己資本 2022年12月期 623百万円 2021年12月期 1,279百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年12月期	△676	273	△595	1,860
2021年12月期	△1,022	△2	966	2,856

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	153.4	770	—	620	—	610	—	48.59

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期	12,664,700株	2021年12月期	12,664,700株
② 期末自己株式数	2022年12月期	110,152株	2021年12月期	110,152株
③ 期中平均株式数	2022年12月期	12,554,548株	2021年12月期	11,035,815株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年12月期の個別業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	173	995.9	△364	—	△344	—	△493	—
2021年12月期	15	△83.4	△527	—	△455	—	△1,739	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年12月期	△39.34		—					
2021年12月期	△157.63		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2022年12月期	2,954	370	370	370	11.7	27.60	27.60	
2021年12月期	3,601	868	868	868	23.3	66.93	66.93	

(参考) 自己資本 2022年12月期 346百万円 2021年12月期 840百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当事業年度においては、外国人観光客の受け入れ再開後、水際対策の緩和が進み、2022年10月以降のインバウンド需要は顕著な回復傾向がみられ、当社が主力としている韓国からの訪日外客数は12月45万人と、2019年比183%（2019年は日韓情勢の影響により訪日旅行者数が減少）、2018年比67%まで回復しております。このような経営環境において、12月単月における営業利益は黒字化するまでに回復し、当事業年度の実績値は、前事業年度から、売上高は増加し、営業損失、経常損失、当期純損失はそれぞれ改善する結果となりました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。